

1. 大会進行について

- ① 試合進行は、オーダーオブプレー（OP）により進行する。
- ② OPの控え欄にプレートが貼られた選手は、試合のできる服装でOP受付に来る。
- ③ OP受付では、チェック及び試合の指示を受けた後、ボールまたは審判用紙を受け取る。
- ④ 控えの指示を受けたコートの上で待機し、前の試合が終了したら、すぐに試合を開始する。
- ⑤ 前の試合が終了後、敗者が審判として審判台に座った時点で次の試合の選手がコートに揃っていない場合、審判は周りの選手に確認し、本部に連絡するように伝える。

2. 試合方法と勝敗について

- ① 4ゲームマッチ（4-4 タイブ레이크）・ノンアドバンテージ方式で行う。
- ※ 試合は、ゲームカウントが4-0、4-1、4-2、5-3、となった場合が決着。
4-4となった場合は、タイブ레이크となる。

ノンアドバンテージ方式

ポイントが40-40になったとき、次のポイントをとった選手がゲームを取る。
尚、レシーバーがリターンサイドを決めることができる。

- ② 試合終了は、両者が握手をした時点とする。
 - ③ 勝者は、試合終了後、審判から審判用紙を受け取り、内容を確認して本部へ持って行く。
敗者は、次の試合の審判 SCU を行う。
- OPより自分の試合のプレートを取り、本部に勝者報告をする。
 - 本部より、次の指示を受ける。

3. 審判（SCU）について

- ① SCUの判定は最終判定とする。
 - SCUはスコアをアナウンスし、審判用紙に記入する。いずれも一人で行うこと。
 - イン、アウト、フォルトの判定は選手が行う。（ハンドシグナルをすること。）
 - インプレー中、隣のコートからのボールの侵入など、何らかの妨害があった場合には、「レット」とコールして、そのポイントはファーストサービスからやり直すことができる。（※今大会はSCUだけでなく、プレーヤーもコールできる。）
 - SCUはその他、サービス時の「ネット・レット」、「フットフォルト」、インプレー時の「ノットアップ（2バウンドしてからの返球）」、「ファウルショット（二度打ち）」、「タッチ（インプレー中に選手がネットに触れる）」などをコールする。

◎スポーツマンシップに反する行為がなされないように努めましょう。

②オーバールールについて

- ・SCUは、選手の判定に明らかに誤りがあるとき、直ちに訂正（オーバールール）することができる。
- ・この判定に対し、選手は審判に不平を言ってはならない。

※「今のは〇〇じゃないですか？」と質問されてからのオーバールールは認められない。

4. ポイント間・チェンジエンドについて

①ポイント間は20秒以内とする。

- ・アウトオブプレーになった瞬間から、次のポイントの第1サーブを打つまでの時間は、最長20秒。
- ・サーバーがサーブしようとする時には、レシーバーは理にかなったペースに合わせてレシーブの構えをしなければならない。

②チェンジエンドの休憩は、90秒以内とする。

- ・第1ゲーム終了時とタイブレーク中は、エンド交代時に休憩できない。
ただし、ベンチに座らずに短時間で給水は可能である。

③試合中、選手は一切アドバイスを受けてはならない。

5. 応援について

①応援は拍手のみで行う。声を出して応援することは禁止する。

②選手に対して敬意を払い、マナーを守って応援をすること。

6. 試合中にケガをしたときの対応

①引率者または本部役員が応急手当を行う。

②応急手当てにかかる時間が試合進行の妨げになる場合、棄権することを勧める。

※原則、メディカルタイムアウトは3分間（疲労による足の痙攣は認められない。）

7. 倫理規定

①試合において、心技体を競い合う競技者として、対戦相手には礼を尽くし、自身はベストプレーを尽くすこと。

②観戦において、敵味方に関わらず、良いプレーに拍手をおくること。また、終了時には、敵味方および勝者・敗者に関わらず拍手をおくること。

③審判に対して、常に敬意を払い接すること。試合終了時には、選手どうしだけでなく、審判とも握手をし、フェアプレーへの感謝を忘れないこと。

8. その他

①各自で貴重品の管理と、ごみの処分を行う。また、会場に落ちているごみは率先して回収するよう努める。

②安全対策・熱中症対策を各自でしっかりと行うこと。

③各会場校の先生の指示を聞き、マナーを守って利用させていただくこと。